

管内調査を行います

霞ヶ浦用水の上流側のパイプラインは、設置工事が完了してから約30年が経過しています。施設を長期的に運用するため、霞ヶ浦用水管理所では施設の劣化状況を継続的に確認しています。今年度もパイプラインの一部の排水を行い、管の内部を直接観察することとしています。

現在、管の中の水を排水しており、11月下旬から管内の調査を行う予定としています。



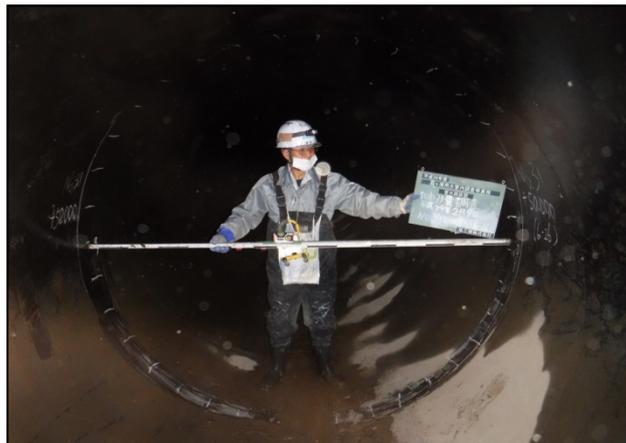
ゲートからの自然排水中



排水ポンプによる排水中



板厚調査（平成28年度実施状況）



たわみ量調査（平成28年度実施状況）



継ぎ目間隔調査（平成28年度実施状況）



塗膜厚調査（平成28年度実施状況）